

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月14日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	明治大学商学部商学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年5月31日
明治大学卒業予定年月	2025年9月
留学先大学について	
留学先国	フランス
留学先大学	リール・カトリック大学(日本語名) Université catholique de Lille(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	フランス語/英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	3年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称:ISTC, FLSH <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input checked="" type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1学期: 4月上旬～7月下旬 2学期: 9月中旬～2月上旬	1学期:9月上旬～12月中旬 2学期:1月上旬j～5月上旬 3学期: ~ 4学期: ~
学生数	25,500
創立年	1875年

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ€)	日本円	備考
授業料		0円	協定留学の為含まれない
宿舍費	480€/月	700,000円	
食費		300,000円	
図書費		0円	教科書は買っていない
学用品費		円	
携帯・インターネット費	10€/月	16,000円	
現地交通費		0円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		200,000円	主に旅行費など
被服費		500,000円	ほとんど日本から持ってきたもので済ました
医療費		0円	
保険費		110,000円	形態: 明治大学が定める海外旅行保険
渡航旅費		250,000円	
ビザ申請費		15,600円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計		2091,600円	

渡航関連

渡航経路
往路 出発地: 羽田空港 目的地: パリ・シャルルドゴール空港 経由地: ヘルシンキ空港 復路 出発地: パリ・シャルルドゴール空港 目的地: 羽田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社: JAL 料金: 約 250,000 円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名: JAL 公式サイト) <input type="checkbox"/> その他()
滞在形態関連
1) 種類(留学中の滞在先)(例: アパート、大学の宿舍等)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前: All logement) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2) 部屋の形態
<input checked="" type="checkbox"/> 個室 <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3) 共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4) 住居を探した方法:
協定先からの住居に関するお知らせメールが送られてきました。
5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
ALL logement は、大学周辺に住みたい学生にはとても便利な立地の寮が多いのでお勧めです。実際、現地の学生は家賃を抑えるため、友達とのシェアハウスや大学から少し離れたアパートに住んでいることが多い気がしました。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

実際に盗難にあうことはなかったが、旅行先では対策としてスマホのストラップを使うようにしていました。現地の情報は、ネット上の海外在住日本人が書くブログや youtube 動画などを参考にしていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

All logement の寮の場合、契約時に wifi のルーターも一緒に予約しないと、部屋に wifi はないことになるので注意した方が良いでしょう。寮のインターネット接続は再接続が頻繁に必要なになるが、そこまで問題ではなかったです。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

主にクレジットカードを利用していた。市場等、現金が必要な場合のみ、デビットカードを使って現金を引き出していました。

6) 現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

2 合炊きほどの小さめ炊飯器、薬系、インスタントのお味噌汁。

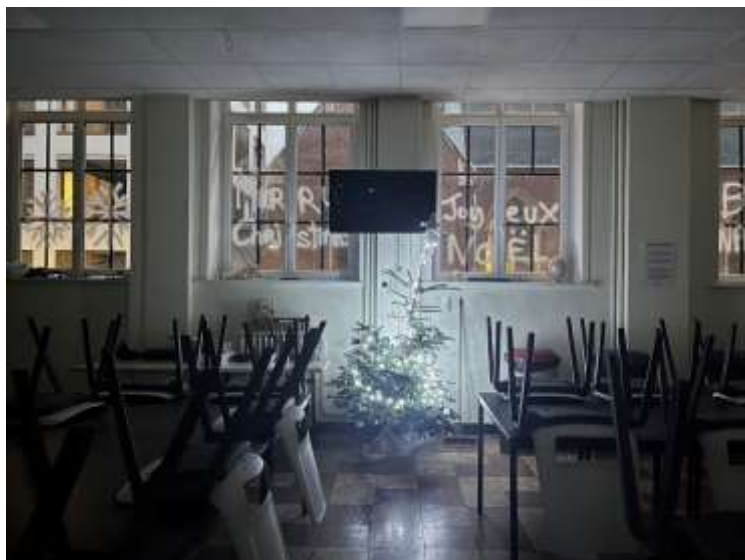
7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input checked="" type="checkbox"/> その他(FLSH はオリエンテーションの日に履修登録の時間が設けられていた。) <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった: 学部によって、最低取得単位数が決まっていた	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
INegotiation	国際ビジネス交渉論
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	春学期
単位数	1.5 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 分が 回
担当教授	I, Machut
授業内容	ビジネスにおける交渉について基本的な講義を受けた後は、ケーススタディを通して実践的な交渉について学びます。
試験・課題等	1) 中間試験: ケーススタディを使って、グループ同士の交渉します。(講義で習ったことを実際に使えているかが見られます。) 2) 最終試験: 20 分の準備時間が与えられた後、ケーススタディを使って 20 分間の 1 対 1 の交渉を審査されます。
感想を自由記入	理論よりも、実践的な交渉に重きを置いた授業で、とてもレベルの高い授業でした。戦略的な交渉を組み立てながら、ビジネスの場で使われる丁寧な英語を意識して話すのはとても難しく、とてもアクティブな授業でした。



履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Trade	国際貿易論
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	春学期
単位数	2 ECTs
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Anita Audureau
授業内容	まだ海外進出していない企業(ブランド)を海外進出させる戦略をグループで話し合い、授業の最終日のプレゼンテーションで報告するというのが大きな目的です。その戦略を考えるために必要な、貿易論や市場調査、マーケティング論等を学びました。
試験・課題等	グループプレゼンテーションと筆記試験
感想を自由記入	理論と実践をつなぎ合わせて学ぶことで、効率よく学ぶことができました。この授業は短期集中講座だったからか、特に学生数が少なかった。グループでのディスカッションの時間が授業内に設けられることもありました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Business English	ビジネス英語
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	秋・春学期
単位数	3 ECTs
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 120分が 14回
担当教授	Zummo AnousMka
授業内容	インプットとしてはビジネスの場で使われる丁寧な英語やイディオムを学びながら、アウトプットとしてそれらをプレゼンテーションで使ったり、ディスカッション等を行いました。
試験・課題等	プレゼンテーションと筆記試験
感想を自由記入	受講生徒が少なかったからか、理論を学ぶというよりは、教授と生徒みんなで意見を出し合いながら、進めていくような感じました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Management	マネジメント入門
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	春学期
単位数	2 ECTs
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Paul Devos
授業内容	理論を中心とした授業で、マネジメント分野における歴史や学者の理論を学びました。
試験・課題等	グループプレゼンテーションとオンラインクイズ
感想を自由記入	抽象的な内容が多いので、試験対策としては自分で調べながらより具体的なイメージに結び付けて学習する必要があると思いました。試験日とプレゼンの日が被るので大変だと思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International negotiation	国際ビジネス交渉論
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	春学期
単位数	2ECTs
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Paul Devos
授業内容	交渉はビジネスの場で実際に使うため、理論を学び、それをケーススタディに応用して身に着けるとい順序で学んでいきました。
試験・課題等	グループプレゼンテーションとオンライン上での試験(45問選択問題と論述1つ)
感想を自由記入	中間、期末試験ともにオンライン上での試験では論述が1題出題されたので、理由や効果と結び付けて交渉術を勉強することが必要になると思いました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Fashion & Communication	ファッションビジネス論
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋学期
単位数	1 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に90分が14回
担当教授	Montali Giuseppe
授業内容	中世から現代までの洋服の歴史を絵画や歴史的出来事と絡めて学びました。プレゼンテーションは2回あり、1回目はファッションブランドを一つ選び、その歴史、商品、ビジネス戦略等についてです。2回目はデザイナーを1人選び、そのデザイナーの経歴、ブランドのデザイン、商品等を発表しました。
試験・課題等	グループプレゼンテーション(2回)、オンラインクイズ
感想を自由記入	ファッションに興味がある人にはぜひおすすめしたいです。講義やプレゼンテーションを通して、ファッションは文化と共に発展していくものだということを学びました。デザイナーのプレゼンテーションでは、日本のデザイナーを選んだため、日本のファッションの歴史についても学ぶことができました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intercultural Communication	異文化理解論
科目設置学部・研究科	ISTC
履修期間	秋学期
単位数	2ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Price Kate
授業内容	一方的な講義ではなく、生徒の意見を聞きながらディスカッション形式で進めていく授業でした。異文化に対応していく過程における人間の心境の変化を理論的に学んでいきます。
試験・課題等	筆記試験、グループプレゼンテーション
感想を自由記入	ちょうど留学が始まったばかりの時期に、カルチャーショックの向き合い方についての勉強ができたので、等身大の自分と重ねながら学ぶことができましたし、とてもためになりました。また、留学生が多く取る授業なので友達を作るのにおすすめです。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
International Communication: Customer Relationship and Brand Management	ブランドマネジメント
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	秋学期
単位数	3 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	
授業内容	理論とケーススタディを半分ずつの割合で学びました。フランスの大手ブランドを例として、売上向上を目的に、ターゲットやマーケット、ブランドイメージを再設定をする課題等がありました。
試験・課題等	レポート
感想を自由記入	英語で行われる授業として選択したのに、教授が英語で説明できない部分があったり、後半はパワーポイントがフランス語で書かれていたりしたことがありました。全ての授業に共通していえるが、予定が合うならば、1回目の授業に参加してから授業を取るかどうか決めてもいいと思います。(2週間ほどの履修登録変更期間が設けられます。)

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Introduction Between the Business World and the International Institutions	ビジネスと国際機関への入門
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	秋学期
単位数	2 ECTS
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に 分が 回
担当教授	Paul Devos
授業内容	WTO や IMF 等経済に関わる国際機関の役割やそれぞれの機関の違いを学びます。高校の政治経済で習った内容をより具体的に学びました。
試験・課題等	グループプレゼンテーション、オンライン試験
感想を自由記入	留学生は少数で、フランス人学生が多く受講していました。プレゼンテーションに関しては、教授が時間制限にとっても厳しかったので、時間内に終わることに気を付けなければいいと思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
French tutoring for international students	フランス語会話初級
科目設置学部・研究科	FLSH
履修期間	春学期
単位数	1ECTs
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 60 分が 12 回
担当教授	
授業内容	チュートリアル形式で、FLSH の学生と 1 対 1 でフランス語を学べます。レベルは最初に伝えると合わせてくれたり、達成したいフランス語のレベル等を伝えるといいと思います。
試験・課題等	ディクテーション、動詞の活用、自己紹介
感想を自由記入	フランス人の学生と友達になりたいと思って選択しました。はじめの頃私があまりしゃべれなくても、練習のためにペアの子がほとんどフランス語で話してくれた為、とても良い会話の練習になりました。ぜひおすすめしたいです。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:休学

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

資格取得に向けて休学をすと決めました。また、自分が興味のある分野でのインターンシップ先が見つかったので、大学以外でのやりたいことに集中して取り組むために、休学をした方がいいという考えに至りました。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例:語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	語学試験の勉強
	10月～12月	出願、学内選考(面接)
留学開始年	1月～3月	予防接種
	4月～7月	寮の申請、航空券購入、VISA申請・取得、バイトで資金準備
	8月～9月	8月中旬に渡航、9月から本格的に授業開始
	10月～12月	12月中旬に期末試験
留学/帰国年	1月～3月	1月上旬から2学期目開始
	4月～7月	4月末に期末試験、5月末に帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

たとえ正当な留学志望理由を持ってなくても、私は正直、海外の大学で勉強してみたいとか海外で何かやりたいという意志があるなら、挑戦した方がいいと思っています。私自身、フランス語を勉強していたわけでもなかったにもかかわらず、ファッションやアートに触れたり、歴史的な建物を自分の目で見てみたいという理由でフランスを選びました。やりたいことや興味があることに経験を通して知見を深めることこそ大学生の学びの醍醐味だと思います。

そして、実際に留学に行きつづけたことは、人との関わりの大切さです。留学は1人で成り立つものではなく、周りの人々との関わりで成り立つものです。留学準備の手助けをしてくれた友達や家族、留学先で出会い、一緒に勉強したり、旅行に行った友達や留学先の先生ら等に支えられて、私の留学は毎日が楽しく充実したものとなりました。日本の外に出て、今までの当たり前が通用しない環境で生活することで、人は毎日支え合いながら生きているんだという、とてもシンプルなことに気づかされました。また、国籍を超え、一緒にいて心から楽しいと思える最高の友達に出会ったことも、留学で得られた宝物です。

だから、これから留学を志す学生の皆さんには、留学中にできるだけ多くの人々と交流してほしいと思います。

ぜひ、皆さんが自身の思うままに、色々なことに挑戦することを願っています。

